

ウ 前期の履修・修得状況

年度	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
① 履修登録者数	171	163	163	173	169	187	223	<b>236</b>
② 0単位者数	45	37	34	39	37	27	31	<b>22</b>
③ 単位修得者数	126	126	130	134	132	160	193	<b>209</b>
④ 単位修得率	73.7%	77.3%	79.3%	77.5%	78.1%	85.6%	86.5%	<b>88.6%</b>

・ここ数年の生徒単位修得率が高い(0単位になる生徒が少ない)。

エ 秋期転入学状況(県内公立高校で年度途中の転入を柔軟に受け入れている唯一の高校)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
① 受検者数	2	2	6	4	<b>2</b>
② 合格者数	2	2	6	4	<b>2</b>

←問合せは30名ほど。昨年度より多いが、乱立した私学に流れた。

- ・令和4(2022)年度までは8月下旬に転入学試験を実施、9月中旬から転入学させていた。
- ・毎年問合せが多いが、怠学状態は不可や、履修継続できる科目があること等が大きな条件となる。
- ・全日制等で登校できなくなった生徒を救済する機能があるが、不登校は夏休み後に起きる可能性が高い。本校への転入学が叶わない場合は、多くが私立通信制に流れると予想できるため、令和5(2023)年度から、夏休み明けの募集(9月下旬に転入学試験を実施、10月中旬から転入学)にしたところ急激に増えたが、令和7(2026)年からの「私学授業料無償化」の流れで激減した。

(3) 卒業率、単位修得率が高まっている背景

- ① 生徒の状況の丁寧な把握  
8月に職員が分担して新入生の出身中学校すべてに訪問して情報交換をしている。  
支援配慮事項の確認、本校での取り組み状況の伝達。
- ② 年3～4回の生徒指導支援会議  
新入生に対しては中学校からの申し送り、8月の中学校訪問で新たに得た情報など  
在校生に対しては普段の学習状況、家庭環境の変化など、職員間で支援情報を共有している。
- ③ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの有効活用  
深刻な課題を抱える生徒が多い通信制はセーフティネットの役割 配置型ではなく申請型で実施。
- ④ 職員の生徒への丁寧な声かけと対応  
レポートや出席への催促のこまめな連絡、レポート提出時の声かけとあたたかい励まし、  
日常の様々な声かけを意識的に行うよう心掛けている。  
※毎日生徒と会えないので、生徒と話せる機会は貴重。  
※生徒も中学校や前籍校であまり教師から関わってもらえていないケースが多い。  
→「中央の先生たちは(こんな私にも)とてもやさしい、とても丁寧に対応してくれる」
- ⑤ キャリア教育の充実・・・学校設定科目「キャリアデザイン」の開講  
R6年度より開講。R8年度はキャリアデザインA 進路探究に関する外部講師らによる5講座  
R7年度はキャリアデザインB 自己探究に関する外部講師らによる5講座を隔年開講(R9予定)
- ⑥ 進路選択に向けた、徹底した進路指導  
進学希望者には外部模試の受験や看護体験への参加、就職希望者には産業事情説明会への参加やクラス担任、進路係、管理職、ハローワーク職員等による模擬面接を何回も実施している。